

第八十回「本郷ふじやま公園古民家歴史部会」「古都鎌倉」歴史探訪

「V」9月5日(木)十二所神社・光触寺・報国寺・釈迦堂切通し・杉本寺

(集合場所；JR 鎌倉駅東改札口 9時50分時厳守同時出発)

① 行程；「鎌倉駅」バス移動→「浄妙寺」→(十二所神社→光触寺→明王院省略)→浄妙寺→報国寺→犬懸ヶ谷碑→釈迦堂口切通し→杉本寺→(筋違橋説明のみ)→バス停「杉本観音」→鎌倉駅。

② 食事場所；「鎌倉川古江」・TEL・0467-24-2580。

(注)行程距離勘案して今回は、十二所神社→光触寺→明王院間は省略する。

1・十二所神社(祭神天神7柱,地神5柱・境内社山の神、疱瘡神、宇佐八幡、地主神・社宝刀銘相州住伊勢綱広・例祭9月9日に近い日曜・子孫繁栄・鳥居脇百貫石約28貫112kg)

この神社は昔、熊野十二所権現と言って1278年(弘安元)には光触寺の境内にありました。1838年(天保9)に今の土地を寄付する人があり、当時30戸の村人の協力で社を移しました。明治になって神仏分離となり、天神(高天原にある神々又、高天原から降臨した神と子孫・伊勢、住吉等)七社・地神(ケツミ・地の神、天照大神、等)五社の12柱の神々をまつり、社名を十二所神社と改め今日に至る。

2・光触寺(山号岩蔵山・元真言宗のち時宗に改宗・本尊拝観料300円要予約)

1279年(弘安2)一遍上人に帰依した作阿上人が開山し、時宗に改めたと言う。本堂は江戸時代、正面の後醍醐天皇が書かれたと言う「光触寺」の勅額が掲げられ、本堂内陣の装飾は見事です。本尊は阿弥陀三尊立像(上品下生の来迎印)・寺宝の「頬焼阿弥陀縁起」は数少ない巻物の一つ。境内には「塩嘗地藏」安置・一遍上人像。

○花便り；春「藤」・夏「ワカ」、花菖蒲・秋「彼岸花、サスバ」。

○国指定文化財等；紙本淡彩頬焼阿弥陀縁起絵巻(重文国宝館)・絹本(ケンボン)著色阿弥陀三尊像(市指定国宝館)。

○名仏像；頬焼阿弥陀三尊立像(要拝観)。

3・明王院(ミウウイン・真言宗・本尊不動明王・茅葺本堂)

1235年(嘉禎元)鎌倉4代将軍藤原頼経(ヨリツネ)を開基として建てられた。頼経は長谷の甘縄に寺を建てようとしたが、自分の屋敷のあった若宮大路から見ると十二所が悪い方角に当たると言うので、鬼門除けとして此の地に五大明王をまつる五大堂を建てました。中心に不動・東に降三世(ノリサネ)・西

に大威徳（ダイイトリ）・南に軍荼利（クンダリ）・北に金剛夜叉の五大明王がまつられる。鎌倉幕府・鎌倉御所の時代は祈祷所としていたが、その後衰え、17世紀中頃火事で不動明王一体を除き焼け、現在は造り直しています。茅葺き建物・境内木々、山々、庭園・薬師如来・大日如来・藤原頼経像・鎌槍を持った稲荷蔵。

4・浄妙寺（元真言宗、極楽寺・臨済宗・稲荷山・ヒヤクシ、境内国指定史跡・鎌倉五山第5位・拝観料100円）

1188年（文治4）鎌倉幕府有力御家人足利義兼が退耕行勇を開山として建立。中興開基は1331年（元弘元）浄妙寺殿貞山道観として此の寺に葬られた尊氏の父貞氏と言う。室町時代には官寺としても名高い鎌倉五山（第5位）として多数の塔頭を持つ大寺院であった。本尊釈迦如来像で、阿弥陀如来、淡島明神像（婦人病）等。木彫退耕行勇像、三宝荒神像、鎌足像（開山堂非公開）・足利尊氏の墓（実際には室町時代・1391年／明徳2）宝篋印塔、墓塔・鎌足稲荷（祠）

- 花便り；春」ボタン・冬」梅・石窯ガーデンレストラン（イタリアン）；境内山の上。
- 国指定文化財等；木造退耕禅師坐像・木造阿弥陀如来立像、紙本墨書浄妙寺文書（市指定国宝館）。
- 名石物；足利貞氏の墓と言う1392年（明徳3）銘宝篋印塔。

5・報国寺（臨済宗建長寺派・功臣山・本尊釈迦如来・寺宝開山仏乗禅師像他・通称竹寺・歴史的風土保存地区・拝観料200円）

1334（建武元）年足利尊氏の祖父家時が建てた寺と言う。宅間上杉氏の祖重兼が建てたと言う説もある。開山は高僧五山文学の代表の一人に数えられる仏乗禅師（天岸慧広）。その後、足利氏と上杉氏菩提寺として栄え、衣張山（5km先）まで境内に含むほど大きな寺であった。本尊は釈迦如来、明治に火災にあってかなり寺宝を無くしたが、仏乗禅師詩「東帰集トウキシュウ」・「天岸テンガン」、
「慧広ヱウ」木印・古文書・仏像・画像等。二階建て迦葉堂（カヨウドリ）・茅葺き鐘楼・開山塔休耕庵跡・竹の庭園・足利一族の墓と言う櫓群。作歌林房雄・歌人木下利玄の墓。

- 花便り；春」梅、ミツマタ・夏」イワタバコ・冬」フユサクラ、ツバキ。
- 国指定文化財等；紙本墨書東帰集、絹本著色仏乗禅師像、推朱印櫃（ヒツ）入木印、仏乗禅師度牒・戒牒（重

文国宝館）・絹本著色羅漢図、花鳥図、絹墨画在中広衍像（県指定重文国宝館）・絹本著色文殊大士像、紙本著色暘谷幢像、紙本墨画一六羅漢図、紙本著色洋平和尚像、銅造和鏡（市指定国宝館）。

- 鴨下荻江；本名須賀、明治35年東京本郷生、大正8年お茶の水高等女学校を卒業後、東京大学文学部、東京外語学校、二松学舎大学等聴講生として学び、昭和4年、アメリカに渡り、サンフランシスコのハイスクールにも在学した。歌道の団体「遠つびと短歌会」・「神奈川県歌人会」・「鎌倉歌話会」・「鎌倉汀（なぎさ）会」などに加入、書道でも藤岡保子、安東聖空に師事、鴨下汀風と号し活躍した。「いにしへの宅間伽葉（かじり）のあとどころ竹むら清く岩たばこさく」荻江（参道中頃左側大銀杏根方五輪塔と並ぶ）。
- 北条・新田合戦追討歌碑；「いさをしも槍も刀も埋もれて 梢に寒し松風の音華の世を所業つたなく散る君に 香一片を焚きておろがむ」昭和40年秋、前住職菅原義道師建立。
- 菅原義道；大正4年愛知県生、8才で出家禅門に入る。昭和12年日本大学宗教学科を卒業し、報国寺住職鎌倉流御詠歌詠祖・鎌倉学園中学校、高等学校教諭としても活躍。著書「荒鷲奮戦記」・「出家」・「鎌倉流詠歌集」・「死んでもと」・「我が身を殺せ」・「死んだつもりで」等（本堂石段を過ぎ右手大きな供養、五輪塔中心の多数の小さな五輪塔群左隣）。1333年（元弘3）5月18日稲村ヶ崎、19日極楽寺、21日稲村ヶ崎の浜より乱入、化粧坂や巨福呂坂からも乱入、鎌倉中が戦場化。
- 木下利玄；明治19年岡山県足守藩木下利恭の弟木下利水の長男として生、学習院から東京帝大文学科入学。12歳の時に佐々木信綱の竹柏会に入門し、学習院高等科を卒業する頃から、武者小路実篤、志賀直哉、正親町（おぎまち）公和らと交わり、勉学のかたわら作歌に励み、竹柏園選集などに歌を発表した。明治43年雑誌「白樺」に短歌で、大正3年第1歌集「銀」を出版し、同8年第2歌集「紅玉」を出版した。第3歌集「一路」を出版したが同年14年2月39才で没。著書前記の他「立春」・「李青集」等（竹庭に入って孟宗竹林入る左手前）。 「あるき来てもふ果てし岩穴の ひやけきからにいにしへおもほゆ」菅原義道之を建つ。
- 6・犬懸ヶ谷碑「衣袂掛ヶ谷とも；尼が衣を掛けた枝に松葉が茂って2本の大木に・関東管領（レイ）、犬懸管領、上杉朝（トモ）宗の子、氏憲（ウジノリ）・禅秀）が公方足利持氏に反乱し敗れ犬懸上杉氏滅びる」

昔、狩りのとき犬が駆け上がったたり、駆け降りたりしていたので、この名が起こったと言われる所。

7・釈迦堂口切通し（崖崩れの為現在通り抜け禁止）

釈迦堂の名は三代執権北条泰時が、亡き父義時の追善供養のため、この谷に釈迦堂を建てたと言われる所からの様です。どの谷戸に建てられたかは、分かりません。現在は個人敷地内になっていて公開されていませんが洞門の上の方には「唐糸矢穴(ヤグチ)」「日月矢穴」と呼ばれるやぐら・北条時政邸跡があります。

8・杉本寺（天台宗・大蔵山・板東三十三観音霊場札所第一番・落馬観音・覆面観音）・杉本城趾・拝観料 200 円）

734年（天平6）光明皇后の命で右大臣藤原房前（ワサキ）と行基（彫刻十一面観音内陣左）により創建、851年（仁寿元）円仁（慈覚大師）が此の寺で靈感にうたれ海辺に浮かぶ木で彫刻したと言う十一面観音像を安置（内陣中央）し中興開山、985年（寛和元）花山法皇の命で、横川恵心僧都が十一面観音（内陣右・鎌倉最古平安期の名仏像）を安置、1189年（文治5）11月23日夜、大蔵観音堂が焼失の際、観音様は庭の大杉のもとに自ら避難して立って居たと言われ「杉の本観音」杉本観音と言われるようになりました。頼朝も1191年（建久2）自ら参詣し本堂の再建に布二百反を寄付している。

杉本寺を含んだ裏山辺りは三浦氏の一族杉本義宗が城を築き、南北朝の戦乱（1336年、延元1～1391年、元中9・南朝、大覚寺統系後醍醐・北朝、持明院統(シミウイノウ)の皇位対立50余年）の合戦に利用された杉本城跡（山城）で城跡が見られる（立入不可）。尾崎迷堂句碑 表「春潮や南海補陀落山の下」裏「手をかざし身けるは秋の燕哉」（本堂右手鐘楼付近）。

○花便り；夏「フヨウ・冬」サザンカ。

○歳時記；8／10四万六千日詣り。境内の五輪塔は名石像物。

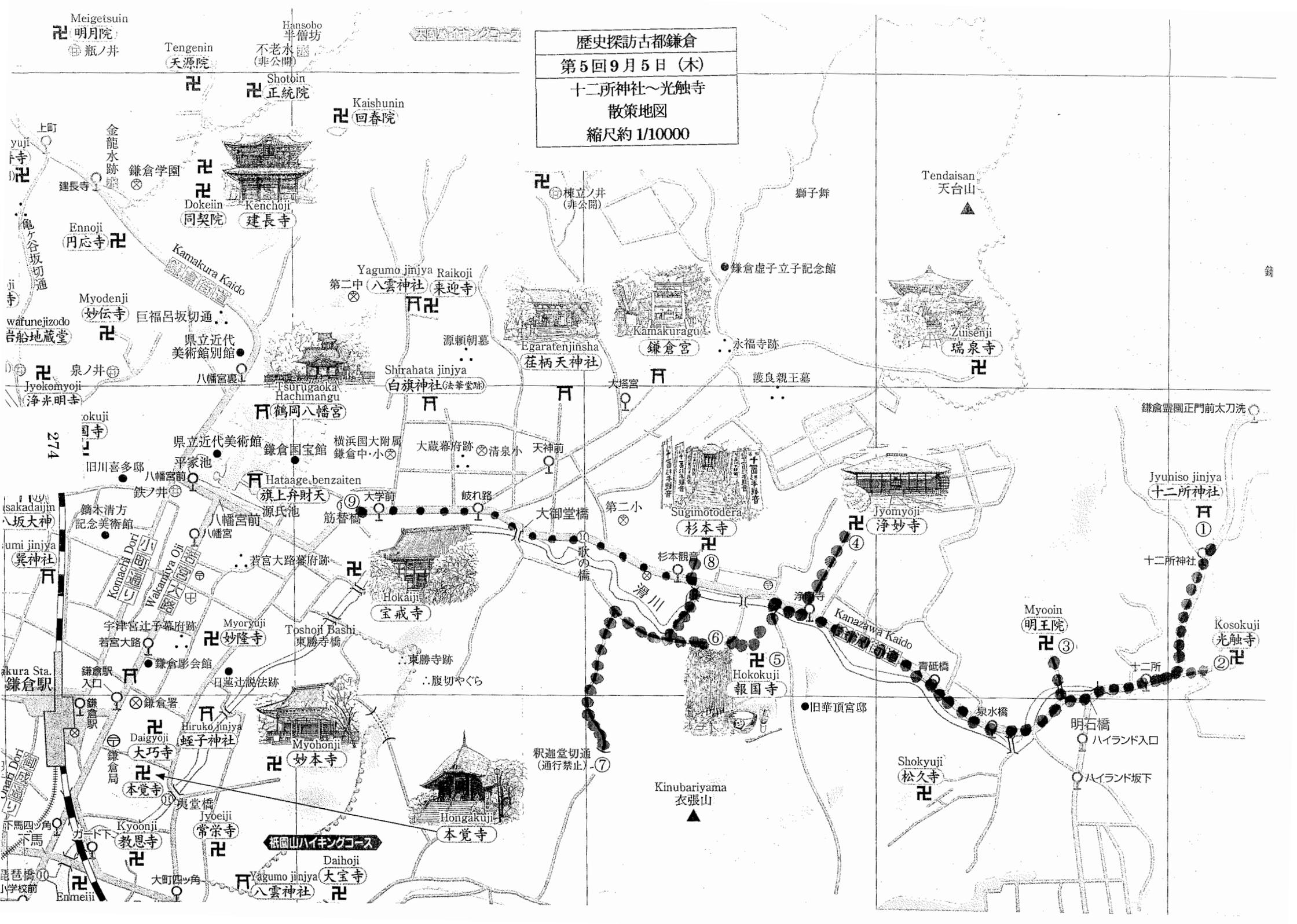
○名仏像；鎌倉最古平安期11面観音。

○名石物；境内の五輪塔。

9・筋違橋（須地賀江橋）道に対し斜めに架かっていた・1247年、宝治元安達景盛此処から三浦泰村攻める）

以上

歴史探訪古都鎌倉
 第5回9月5日(木)
 十二所神社～光触寺
 散策地図
 縮尺約 1/10000

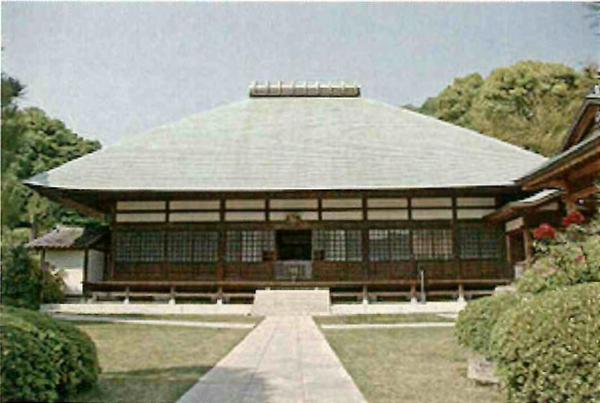


浄妙寺 (鎌倉市)

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

浄妙寺(じょうみょうじ)は、神奈川県鎌倉市にある臨済宗建長寺派の禅宗寺院。山号は稲荷(とうか)山。詳名は「稲荷山浄妙廣利禅寺」という。本尊は釈迦如来。開基(創立者)は足利義兼、開山(初代住持)は退耕行勇。鎌倉五山の第五位。鎌倉三十三観音第9番。

寺には婦人病に靈験のある神とされる淡島明神立像を安置することから、婦人病の祈願所とされている。境内墓地には足利貞氏の墓とされる宝篋印塔がある。

 <p style="text-align: center;">浄妙寺</p>	
<p>所在地 神奈川県鎌倉市浄明寺3-8-31</p> <p>位置 北緯35度19分21.99秒 東経139度34分17.05秒 (//tools.wmflabs.org/geohack/geohack.php?language=ja&pagename=%E6%B5%84%E5%A6%99%E5%AF%BA_(%E9%8E%8C%E5%80%89%E5%B8%82)&params=35_19_21.99_N_139_34_17.05_E_region:JP-14_type:landmark)</p> <p>山号 稲荷山</p> <p>宗派 臨済宗建長寺派</p> <p>寺格 鎌倉五山五位</p> <p>本尊 釈迦如来</p> <p>創建年 文治4年(1188年)</p> <p>開基 足利義兼、退耕行勇(開山)</p> <p>正式名 稲荷山 浄妙廣利禅寺</p> <p>札所等 鎌倉三十三観音9番 鎌倉十三仏2番(釈迦如来)</p> <p>文化財 木造退耕行勇坐像(国の重要文化財)ほか</p>	

目次

- 1 立地
- 2 地名
- 3 沿革
- 4 境内
- 5 周辺
- 6 文化財
- 7 所在地・アクセス
- 8 関連項目
- 9 外部リンク

立地

鎌倉市の東部、市の中心部から横浜市の金沢に抜ける金沢街道沿いに位置し、杉本城趾(現、杉本寺)と朝比奈の切り通しとの間にある。境内地は鎌倉駅から2.5kmほどの谷間の中間平坦地にあり、北東に胡桃山、南西に衣張山がある。

地名

鎌倉五山の第五位の寺院として、かつては広大な寺地を有し、23箇院の塔頭を有していた。現在でも付近一帯の地名を「浄明寺」といい(地名は「妙」の代わりに「明」字を用いる)、住宅団地名にも使用されるなど、その名残を残している。

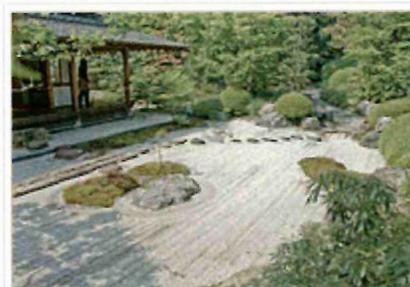
沿革

足利義兼による文治4年(1188年)の創建と伝えられる。初めは極楽寺という密教(真言宗)の寺院であったが、建長寺開山蘭溪道隆の弟子、月峯了然(げっぽうりょうねん)が住職となってから禅刹に改め、ついで寺名も浄妙寺と称した。寺名を改称したのは正嘉年間(1257~1259年頃)とみられる(浄妙寺発行 略記より)

- 文治4年(1188年):極楽寺創建。開山は退耕行勇、開基は足利義兼。
- 建久9年(1198年):足利義兼は秘蔵の弘法大師筆の荒神・不動の二軸を刻ませた。
- 正治元年(1199年):源頼朝・足利義兼が没し、北条政子は前年作成の荒神・不動を寺門の右の小高いしげみの「本寂堂」に安置したという。
- 建暦2年(1212年):源実朝は足利義氏に命じて造営を加え、母北条政子の白檀の弥陀の立像と新造の釈迦像を安置したという。
- 正嘉元年(1257年)~正応元年(1288年)ごろ:蘭溪道隆(建長寺開山)の弟子の月峰了然が住持となって禅宗の寺院となり、「浄妙寺」に改名した。
- 正平6年(1352年)浄妙寺境内の延福寺に足利直義が幽閉される。翌年2月26日急死。
- 延文2年(1357年):火災。
- 延文3年(1358年):鎌倉五山第五位の寺とされる。ただし、この時点では未確定。
- 至徳3年(1386年)7月10日:足利義満は鎌倉五山第五位の位次を決定した。寺は最盛期を迎え、塔頭23院を有した。後、火災などで衰微する。
- 応永31年(1424年):火災。
- 永享10年(1438年):火災。但し、永享の乱の際に三浦時高が付近に火を放ったことによる推定という。
- 文明18年(1486年):堯恵は『北国紀行』に「浄妙寺に入りて見るに、台あれて春の草にかたぶき、ひはだ朽ちて苔のみどりにひとし」と記している。
- 宝暦6年(1756年):仏殿を再建する。

境内

- 本堂 - 方丈形式の本堂である。
- 喜泉庵 - 天正年間(1573 - 1591年)に建立された茶室喜泉庵を復興したもの。枯山水庭園があり、有料で茶菓が供される。
- 稲荷山 - 寺の裏山で、藤原鎌足が子孫のために「霊鎌」を埋めた地とされ、これが「鎌倉」の地名由来となったという伝承がある。複数ある「鎌倉」の地名由来伝承の一つである。鎌足稲荷神社の小祠がある。
- 宝篋印塔 - 本堂裏の墓地に足利貞氏の墓と伝える明徳三年(1392年)銘の宝篋印塔がある。基台の銘文により、罪障消滅・後生善根を願う逆修塔とされる。



枯山水の庭園

境内は国の史跡に指定されている(1966年11月2日指定)。境内は梅、つばき、ぼたん、サルスベリ、いちょう、紅葉などの名所として知られる。

周辺

- 室町時代には浄妙寺の東側に足利公方屋敷が構えられ、足利尊氏やその子孫が居住していた。
- 境内に隣接して大休寺跡と延福寺跡がある。大休寺は足利直義(尊氏の弟)の菩提所、延福寺は足利高義(尊氏の異母兄)が母の追善のために建てた寺である。
- 原節子の主演映画「山の音」(原作川端康成)には近くの「稲荷小路」や「報国寺」なども出てくる。

文化財

- 木造退耕行勇坐像(国の重要文化財) - 南北朝時代の禅僧肖像彫刻の優品。像高66cm。

- 木造藤原鎌足像
- 木造淡島明神像
- 紙本墨画浄妙寺境内図 - 江戸後期の想像図とされる。外門、惣門、三門、仏殿、法堂、方丈、禅堂、経堂、鐘楼などが描かれている。

所在地・アクセス

- 鎌倉市浄明寺3丁目8番31号
- 鎌倉駅から京急バス金沢八景、鎌倉霊園方面行きに乗車し「浄明寺」で下車。徒歩数分。

関連項目

- 関東の史跡一覧

外部リンク

- 鎌倉紀行 衣張山コース 浄妙寺 (五山第五位)
(<http://homepage3.nifty.com/kamakurakikou/ajyomyoji.html>)
- 雪の浄妙寺とその歴史 (http://www.ktmchi.com/2006/0122_04.html)
- 鎌倉五山第五位「浄妙寺」 (<http://mitch1.blog.so-net.ne.jp/2006-02-12>)
- 国指定文化財等データベース (http://kunishitei.bunka.go.jp/bsys/index_pc.asp)

「[http://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=浄妙寺_\(鎌倉市\)&oldid=48066097](http://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=浄妙寺_(鎌倉市)&oldid=48066097)」から取得

カテゴリ: 臨済宗建長寺派の寺院 鎌倉市の寺 神奈川県にある国指定の史跡

神奈川県的重要文化財 足利氏

-
- 最終更新 2013年6月5日 (水) 03:44 (日時は個人設定で未設定ならばUTC)。
 - テキストはクリエイティブ・コモンズ 表示-継承ライセンスの下で利用可能です。追加の条件が適用される場合があります。詳細は利用規約を参照してください。